

9月中旬

バロー22期連続増収

ドラッグストア堅調

バローホールディングス(HD)が4日発表した2016年9月中旬連結決算は、売上高に相当する営業収益が前年同期比3・8%増の2562億1100万円だった。22期連続の増収で、過去最高を更新した。出店攻勢をかけるドラッグストア事業と、専門性強化を進めるホームセンター(HC)事業が堅調に推移し、主力のスーパーマーケット(SM)事業も微増だった。

既存店売上高をみる減。一方、ドラッグストアとSM事業は、スーパーストア事業は食品部門を拡充するなどで、5・9%増。HC事業も園芸・農産物などを充実したもので、業資材が順調で0・8%増。出店は9月末まで新設が34、退店が

5、グループの総店舗数は724となった。損益面では可児畜産プロセスセンターを中心にインフラの効率改善が寄与したほか、スポーツクラブ事業も順調で、営業経常、純利益がいずれも3期連続で増益となり、純利益は過去最高益だった。中間配当は前期より2円増配の1株当たり19円で、6期連続で増配。年間配当額は4円増配の40円を予定。通期は下期に29店舗の新規出店を計画するなど積極展開を進め、増収増益を予想する。